

「3つのあい」でとことん仲間ふやし ～医療福祉生協連創立を過去最高の到達で迎えましょう～

1. 期 間 : 2010年9月27日～11月30日
2. 全国目標 : 全会員生協での10.1統一行動
3. 獲得目標 : 全国四課題、各単協目標の8割を達成
4. 今年の強化月間の歴史的な意義

10月1日からはじまる生協強化月間は、旧生協法が10月1日に施行されたことを記念し、広く国民に生活協同組合を知らせ、多くの新しい組合員を迎え入れることで生協の基盤を強化する期間として全国の生協でとりくまれてきました。

政治刷新と景気回復、社会保障の充実を求める国民世論は1年前に政権交代を実現しました。しかし、その後も「政治と金」や沖縄基地問題をめぐる混迷が続き、鳩山内閣退陣を受けた菅内閣に対しても参議院選挙敗北という厳しい審判が下りました。政治・経済は不安定さを増し、くらしや社会保障の改善を求める人々の願いは、未だ実現されていません。

今年の生協強化月間は、こうした社会情勢のもとで医療福祉生協連としてとりくむ最初の強化月間です。地域の医療・福祉を向上し、明るいまちづくりをすすめる医療福祉生協のナショナルセンターである連合会の姿を多くの人びとに知らせ、生活の改善と社会保障の充実を求める多くの人々に生協への加入を呼びかける月間として、歴史的な意義を持つものです。

5. 強化月間重点課題

(1) 医療福祉生協連創立を過去最高を超える仲間増やしで迎える課題

300万人組合員早期達成に向け、掲げた目標にこだわり対話訪問行動を通じて仲間を増やし、地域における医療福祉生協のセーフティネット(班づくり、助け合い・支えあい)を築きます。過去最高(月間中47, 278人:2006年度)を超える仲間増やしに弾みをつけるため、「10・1医療福祉生協連創立記念 仲間増やし統一行動」を提起します。

10・1日本医療福祉生協連創立記念日、仲間ふやし統一行動

今年の10月1日は医療福祉生協連の創立記念日です。私たちひとりひとりの力が、これからの医療福祉生協の未来を切り拓く原動力となります。10月1日前後一週間を全国統一行動日に設定し、1班1組合員(28, 339人)を目標として仲間増やしにとりくみます。事業所は組合員利用率100%をめざします。

(2) 明るいまちづくりをすすめる医療福祉生協連の姿を知らせる課題

① 医療福祉生協連の創立を多くの人々に知らせます

- 地域社会の問題解決のために、さまざまな団体との対話を広げます。ComCom や虹のネ

ットワークを活用し、Hib ワクチンやHPV(子宮頸がん予防)ワクチンの学習と公費助成を始めとする、いのちと健康の問題を解決するために、地方自治体や住民団体との対話を広げ、医療福祉生協連の役割を知らせます。

- 医療部会では、WHO(世界保健機関)が提起した「高齢者にやさしいまち」に不可欠の事項に関するチェックリストを日本の実情に合わせて改良し、「(医療部会版)高齢者にやさしいまちづくりチェックリスト」を作成しました。この秋、その説明会を開催し会員生協での活用・具体化を提起します。各生協では、このチェックリストをもって自治体や地域福祉団体・高齢者団体との対話を進めます。特に地域購買生協・農協など協同組合間の連携を重視します。

②「いのちの大運動」をすすめ「3つのあい」(出会い・ふれあい・支えあい)を広げます

- 全国に404カ所あるたまり場、サロンづくりをさらにすすめ、地域における「ひとりぼっち」をなくすとりくみを強化します。
- 健康づくりを重視し、職員による新しい班会メニューの創造と脳いきいき班会や転倒予防体操にとりくみ「認知症になっても地域でくらしつづけられる」、「寝たきりにならない」まちづくりを推進します。

6. 具体的なとりくみ方法

(1) 月間に入る前に

- ①理事会は強化月間の意義を論議し、計画段階から目標達成に責任を持ちましょう。
- ②月間中の具体的な目標値を決め、支部を中心に目標達成にこだわったとりくみをすすめましょう。
- ③支部は班会や学習会企画・健診受診運動・職員と協同した訪問活動など多彩なとりくみを計画しましょう。
- ④HibワクチンやHPV(子宮頸がん予防)ワクチン接種公費助成を広げる運動にとりくみましょう。

(2) 月間中のとりくみ

- ①すべての支部で助け合いの活動やたまり場をつくり、地域における社会的役割を担いましょう。
- ②「ひとり一役」を基本に組合員ひとりひとりをつなぐ機関紙手配りを重視し、機関紙配布者を増やすとりくみをしましょう。
- ③月間中にすべての班で班会を開催しましょう。
- ④comcom や虹のネットワークを活用し、支部運営委員会や班会において、連合会の意義や役割を学び医療生協への理解を深めましょう。
- ⑤高齢者にやさしい都市づくりを学び、チェックリストを活用しましょう。
- ⑥脳いきいき班会や転倒予防体操に積極的にとりくみ、認知症の学習を深め、寝たきりにならないとりくみと、住みつづけられるまちづくりを推進しましょう。
- ⑦加入時には支部や班でウエルカムパーティを行い、繋がりを深めましょう。
- ⑧定期的な健康チェック、健康づくりやワクチンなどの学習会を行い、健康づくり活動をひろげましょう。

(3)職場のとりくみ

- ①医療福祉生協の事業所は、組合員が利用するものです。事業所は加入コーナー設置や組合員利用率100%デーを設けるなど、組合員利用率 100%にこだわらしましょう。事業所で増やした仲間は、支部を通じて、班に位置付けましょう。
- ②地域の要求を重視し、患者の権利章典にもとづくサービス提供をすすめ、満足度の向上に努めましょう。
- ③大腸がん健診や健康づくり健診などの組合員健診の利用をすすめましょう。
- ④職員教育の一環として、組合員の職場訪問や職員の地域訪問行動・班会や支部運営委員会への積極的な参加を重視しましょう。
- ⑤職員はHibやHPV(子宮頸がん予防)ワクチンについて、支部や班で学習会を開きましょう。

7. 医療福祉生協連として

- ①医療福祉生協連創立を知らせる全国規模でのマスコミ宣伝を行い、全国の生協を励まします。
- ②週に1回程度各生協の到達状況の確認を行い、そのとりくみを全国に発信します。
- ③ポスター、ちらしなどの資材を作成し普及します。
- ④強化月間事前アンケート、10. 1アンケート、強化月間まとめアンケートを行い、各生協のとりくみ状況を把握します。以下の項目については、全国的な状況を把握するために重視します。
 - たまり場・サロンの実施・開催数(組合員が地域において主体的にとりくんでいる活動)
 - 転倒予防及び認知症予防に主眼をおいた班会開催数(月間終了時)
 - 対話数(月間終了時)
- ⑤目標達成支部・職場に対しては賞状をお送りします。

以上